



## 泥んこになりました

泥の冷たさが気持ち良く、座り込んでしまいました  
出羽保育園の田植え体験

6月  
定例会  
特集

注  
今  
月  
の  
！

- 補正予算案を撤回、再提出 (2)
- コロナ対策臨時交付金 (3)

いわみ温泉  
省工ネ改修

# 補正予算を撤回

6月  
定例会

6月定例会を6月5日から16日にわたって開催し、町長提出議案9件、陳情1件、委員会発委3件を審議し、すべてを全員賛成で可決しました。

一般会計補正予算第2号は、霧の湯省工ネ改修について、多くの議員が説明不足を指摘しました。これを受けて執行部は、1日目に提出した補正予算案を撤回し、霧の湯省工ネ改修に係る部分を削除した案を最終日に追加提案しました。

3月定例会で、霧の湯の令和7年度再開に向け、省工ネ改修を検討する中で、薪ボイラーの活用を進めていきたい考えが議会に示されました。これについて、今後も議論が必要であると本紙83号でも取り上げました。

## 挙手で表決する議員

5月31日の産業建設常任委員会において、財源の目的が立ったことで、薪ボイラー設置の設計管理委託費764万2000円の補正予算案と今後のスケジュールが示されました。議員からは、これだけの投資をした効果が表れるのかとか、光熱費の削減だけではなく業績の改

善策を示すべき、との意見が出ました。

6月6日の全員協議会においては、投資をしてから利用客の確保をするのか、利用客を確保してから投資をするのか。薪ボイラーを認めたら、全て認めることになるのでは、と厳しい意見が続き、全員協議会後の議員間討議では、修正動議の考えも出ました。

9日の質疑においては、設備の改修が利用客の増加につながり、持続可能な経営となる確証があるのか。まずは、収支が合うような事業ができるという見通しを持ってから踏み切るべき。今後

の展開に指定管理の応募者が見込めるかは未知数である、など多くの議員が説明不足を指摘しました。

厳しい質疑が続く中、今定例会で議決を求めるのか、または先延ばしにするのかについて執行部は「薪ボイラーの導入については、これまで調査等してきた結果、この方法が望ましいという方向性を持って今回予算計上

しており、審議を求める」と答弁しましたが、13日の議会運営委員会で、補正予算案の撤回が示されました。

早期再開を求める町民の声もありますが、ボイラー整備に5000万円から6000万円程度、薪供給施設に2000万円から3000万円程度という全体の事業費の総額が見えていない中で増額補正を認めるには不安感があります。

8月の意見交換会でも、町民の皆さんの考えをお聞かせください。



再開が待たれる霧の湯

## 新型コロナウイルス対策臨時交付金

# 5類移行後も継続

コロナウイルス感染症は、法的には5類に移行され、旅行者の移動制限も解除されました。しかし、感染が完全になくなった訳ではありません。また、ウクライナ情勢などによる物価高騰も続いており、今年度も国からの臨時交付金が交付されます。

一般会計補正予算第2号には、これらの事業費が含まれます。

## 低所得世帯へ物価高騰対策

昨年度も行われましたが、電気・ガス・食料品等の価格高騰に対する重点支援です。

対象は、令和5年6月1日の基準日において、本町に住民票を有し、次に該当する世帯です。

①令和5年度住民税非課税世帯。対象世帯に送付される確認書の返送が必ずです。

②令和5年1月以降家計急変世帯。申請書により受けつけ、任意の1ヶ月の収入状況の審査が必要です。

給付額は、①②とも一世帯あたり3万円で、

予算額は5584万円で、対象は、令和5年6月1日の基準日において、本町に住民票を有し、次に該当する世帯です。

詳しくは、医療福祉政策課へお問い合わせください。

## 畜産農家へ経営継続支援

飼料費高騰に影響を受けた畜産農家に対し、畜産経営を継続することを目的に給付されます。

県も同様の支援を行っており、県の補助対象となる農家（月500kg以上使用）では県が50%の補助を行っており、町が25%を補助し、合わせて75%補助となります。

県の補助対象外農家（月500kg未満使用）

では町が75%を補助します。

対象は、繁殖牛・搾乳牛・養鶏で、対象期間は、令和5年4月から6年3月の農家負担高騰分です。予算額は、1015万円です。

## 夏季農林畜産物安定供給支援

飼料価格、電気料などの高騰に苦慮する農林畜産物生産事業者に対する支援です。夏季の電気料金高騰分を支援します。

令和3年度7月～9月と、令和5年7月～9月の差額高騰分の50%を補助します。

対象は、令和5年7月

9月の3ヶ月の電気料金が50万円以上の事業者で、予算額は200万円です。

## 酪農経営支援

乳価の低迷及び飼料価格高が止まりしている状況から、自給飼料及び生産性向上等を総合的に支援します。

①牧草地有害鳥獣対策支援

②飼料用稲（WCS）導入支援

③乳用牛生産施設等整備支援

の3種類で、補助率3分の2、上限200万円で、予算額は1000万円です。

畜産・農業支援については、産業支援課にお問い合わせください。

## 学校での感染対策

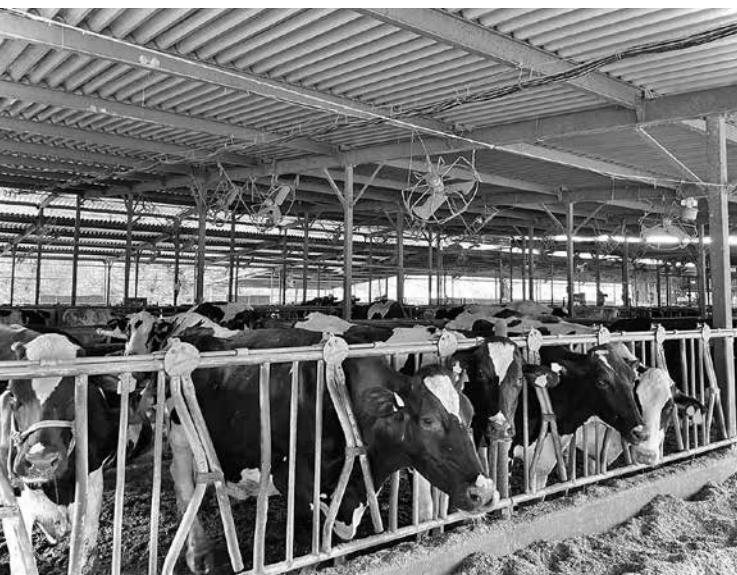
新型コロナウイルス感染流行下において、感染者及び濃厚接触者等の発生に伴う対応など、校長の判断で迅速かつ柔軟に対応できるように整備を支援するものです。

①学校における感染者等

発生対応支援・学習保障支援（消毒液などの購入）

②学校における関係対策整備支援（換気対策など）

一校あたりの補助上限額は90万円で、予算額は990万円です。詳しくは、学びのまち総務課にお問い合わせください。



飼料高騰の影響が大きい畜産農家

### 問い合わせ先

医療福祉政策課	☎ 95-1115	I P 050-5207-3008
産業支援課	☎ 95-2565	I P 050-5207-3020
学びのまち総務課	☎ 83-1126	I P 050-5207-5250

## 安全な水の安定供給のために

# 水道ビジョンを改定

厚生労働省の「新水道ビジョン」を踏まえ、これまでの「邑南町水道ビジョン」を全面的に見直し、「邑南町水道事業ビジョン」に改定することとしました。

今後のさまざまな社会環境や人口動態などの

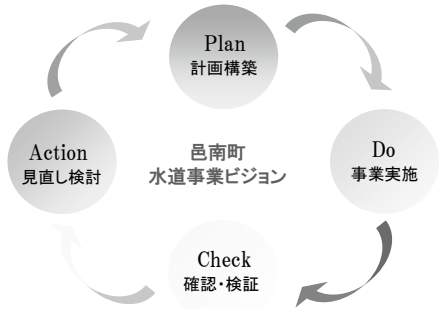
動向を見据え50年後、100年後もサービスしていく方向性を示されています。

めざす方向性は、基本理念「うるおいのあるまちづくり（自然の恵み、邑南の水）」をもとに、安全、強靱、持続の3本柱で事業を実施していくこととしています。安全…安全で快適な水の確保。水源から蛇口ま

で良質な水の供給をめざします。

強靱…ライフラインの強化。事故や災害等に対しても被害を最小限にできる水道を確立し、いつでも安定した水の供給をめざします。

持続…運営基盤の強化、サービスの充実。水道事業に対する信頼性の向上と、お客様のニーズに応えた水道サービスの実現をめざします。改正に合わせて、「邑南町水道事業経営戦略」と「邑南町水道事業ビジョン」を統合し、新たにまとめて水道利用者にお示しします。



ご意見 ↓ 公表  
町民(お客様)



安全な水を供給するための給水施設（出羽配水池）

## 下水道使用料金

# 来年度から値上げへ

邑南町の下水道事業は、持続的で安定的な事業運営のため、令和6年4月1日より現在の特別会計から地方公営企業法を適用した会計に移行する予定です。このことにより、経営状況の明確化や適正な財政管理が可能となります。

こうした中、昨年度、町長より上下水道委員会へ下水道使用料の適正化

年2月1日に上下水道委員会会長藤原光三氏より答申があり、6月定例会において内容の説明が水道課よりありました。

上下水道事業は、人口減少に伴う使用料収入の減少や、施設の老朽化に伴う更新費用の増加など厳しい財政状況であり、邑南町からの多額の補助金を必要としています。この補助金を繰り入れない完全な独立採算制で使用料を考えると、現在の使用料金を4倍にしなると下水道事業は維持することができません。上下水道委員会の答申では、適正な使用料として支出のうち維持管理費の部分を使用料対象経費とし、さらに近年の物価高騰、激変緩和を考慮して現在よりも10%の引き上げを適正としています。

邑南町議会において、使用料条例の改正案が提出される予定の9月議会に向けて、邑南町下水道事業が持続的で安定的な経営ができるよう調査・研究を進めて参ります。

## 三階席

6月定例会前の産業建設常任委員会を、5月31日と6月2日の2日間で行った。委員長として初めて委員会審議の進行を行ったのだが、緊張するばかりで通り一遍の進行に終わってしまった。今回の案件は、所管4課の通算で25件あったのだが、項目によっては委員の意見を引き出すなど議論を深める雰囲気づくりに努めるべきであったと、後悔先に立たずの心境である▼議会開会前日の夕方、委員長報告が頭をよぎりパソコンで報告書を作成し始めた。すぐ終わると甘く思っていたがめどが付いたのは午前2時30分であった。議会初日の委員長報告に何とか間に合って、一般質問が終わった日と同じ感覚を味わった▼広報委員として8年間でめ意識が定着し、今回の退会で改めてそれを認識した。広報新メンバー頑張れ！

瀧田均 記

# 国民健康保険税

# 税率を引き下げ

国民健康保険税の税率引き下げが提案され、その内容が定められた「国民健康保険税条例改正案」を可決しました。

昨年度の医療費実績は前の年よりも減少しています。また、課税所得額も当初予算算定時から本算定時に増額しています。併せて、基金保有額も目安とする7000万円を超えています。これらのことから、今回の税率引き下げとなりました。

モデル世帯の具体的な年間の引き下げ額は以下の通りです。  
給与収入155万円の1人世帯で2万1000円の減額。  
夫の給与収入311万円、妻の給与収入115万円、子ども2人の4人世帯で6万9300円の減額。  
年金収入78万円の1人世帯（7割軽減）で

2200円の減額。  
年金収入190万円の1人世帯（5割軽減）で1万2000円の減額。  
夫の年金収入220万円、妻の年金収入170万円の2人世帯（2割軽減）で2万8300円の減額となります。

## 変更後の税率

	所得割率	均等割額	平等割額
医療分	5.29%	18,600円	12,000円
後期支援金分	2.08%	7,300円	4,700円
介護納付金分	1.60%	7,700円	3,900円

## 飲用井戸設置事業



井戸のボーリング工事

# 補助率を改定

上水道未普及地域で、飲用水を確保するための井戸を設置する場合、補助金が交付されています。この補助金について変更が示されました。

今までは、必要額の2分の1以上で、30万円の上限が定められていました。今後は、必要額の40%となりますが上限は定められません。これは、上水道普及地

域での水道使用料と、未普及地域で井戸を確保する場合の平均的な費用とを比較し、その差額から補助率を計算したものです。また、井戸の深さは地理的条件で差が生じるので、公平性を確保するために上限は定められません。補助額の適正化については、以前から議会でも議論されてきました。

## 6月定例会 議案の ゆくえ

「邑南町税条例の一部改正」は、3月31日に公布された地方税法の改正に伴う改正です。森林環境税の導入に伴う条項の整備と、電動キックボードの軽自動車税区分の変更です。

「邑南町国民健康保険税条例の一部改正」は、税率引き下げ（上段参照）です。

「邑南町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正」はコロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類となったことによる改正です。

「財産の取得」は、小型動力ポンプ付軽四輪駆動消防車2台を購入するものです。

「令和5年度邑南町一般会計補正予算第2号」は、4月の人事異動に伴う人件費の補正と、「コ

ロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」による新規事業（3ページ参照）などです。

他の特別会計補正予算は、4月の人事異動に伴う人件費の補正です。

人事案件は、農業委員会委員の辞任に伴う選任同意です。

委員会発委は3件ありました。

「邑南町議会基本条例の一部改正」は、地方自治法で定められた以外の議決事件を条例で定めるものです。

「邑南町議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定」は、地方自治法の改正により、議員の請負に関する規制の緩和と明確化が定められました。これに基づき、各議員が邑南町との請負契約の概要や支払いを受けた金銭の総額などを議長に報告し、その内容を議長が公表することなどを定めるものです。

「地方財政の充実・強化を求める意見書の提出」は次ページ「意見書」をご覧ください。

# 陳情と意見書

地方財政の充実・強化を求める意見書の提出を求める陳情

採択



総務教民常任委員会  
平野委員長

この陳情は、邑南町職員連合労働組合執行委員長 原拓矢氏から提出されたものです。

現在の地方自治体には、医療・介護などの社会保障制度の整備、子育て施策、地域活性化、デジタル化、脱炭素化、物価高騰対策など多岐にわたる役割が求められています。

こうした中、各分野の充実強化をはかり、地域

の安心・安全を支える公共サービスの充実・確保のための自治体予算編成を確立するために、「地方財政の充実・強化」を求める意見書の提出を求めています。

総務教民常任委員会で審査した結果、願意に沿い、国に意見書を提出することが適当であると、全会一致で採択すべしと決しました。

また、委員長の報告を受け、本会議でも全員賛成で採択し、意見書の提出を決定しました。

## 地方財政の充実・強化を求める意見書

陳情の願意に沿い、以下の事項の実現を求めています。

①増大する地方公共団体の財政需要を的確に把握し、十分な地方財政の確保を図ること。

②特に、社会保障経費の拡充を図り、人材確保に向けた取組みを支える財政措置を講じること。

③地方交付税の法定率を引き上げるなど、臨時財政対策債に頼らない、自立的な地方財政の確立に取り組むこと。また、消費税の地方税への税源移譲などの抜本的な税制の改善を行うこと。

④新型コロナウイルス感染症対策として、ワクチン接種体制や医療提供体制についての財政措置や速やかな情報提供を行うこと。

⑤「まち・ひと・しごと創生事業費」の1兆円は、より恒久的な財源とすること。

⑥会計年度任用職員制度

について、処遇改善や雇用確保などについて引き続き所要調査を行い、財政需要を満たすこと。

⑦特別交付税について、諸手当等の支給水準による減額措置を行わないこと。

⑧自治体業務システムの標準化については、引き続き「地域デジタル社会推進費」に相当する財源を確保すること。

⑨森林環境譲与税は、より需要の見込める自治体への譲与額を増大させるよう、現行の譲与基準を見直すこと。

⑩人口減少に直面する小規模自治体を支援するため、地方交付税の財源保障機能・財政調整機能の強化を図ること。



窓口で対応する役場職員

## 令和5年度6月補正

	当初予算の額	5月補正後の額	6月補正額	6月補正後の額
一般会計	159億7100万円	160億2751万円	7382万円	161億 133万円
国民健康保険	13億2000万円	13億2000万円	535万円	13億2535万円
直営診療所	1億3450万円	1億3450万円	△756万円	1億2694万円
後期高齢者医療	3億7350万円	3億7350万円	—	3億7350万円
下水道	10億4000万円	10億4000万円	112万円	10億4112万円
電気通信	5億6800万円	5億6800万円	—	5億6800万円
特別会計合計	34億3600万円	34億3600万円	△108万円	34億3492万円
総合計	194億 700万円	194億6351万円	7274万円	195億3625万円

※千円以下で四捨五入しているため実際の数字と差異が発生しています。

水道事業会計の補正はありませんでした。

# いっぱん 質問

## 質問者と質問内容

順番	議員名	質問内容	ページ
1	奈須 正宜	(1) フレックスタイム制度 (2) 2030国民スポーツ大会 (3) 人口問題	8
2	野田 佳文	(1) 観光スポットの景観維持 (2) 森と暮らしの未来創造プロジェクト (3) 食育と郷土料理	9
3	日高 八重美	(1) 核軍縮G7広島ビジョン (2) 訪問介護職員の人材育成 (3) 帯状疱疹ワクチン接種助成	10
4	大屋 光宏	(1) 邑南町「非核平和の町」宣言 (2) 情報提供の姿勢	11
5	漆谷 光夫	(1) 公共施設等管理計画 (2) 一般質問のその後	12
6	鍵本 亜紀	(1) 誰ひとり取り残さない、人を尊び、心の通う邑南町	13
7	辰田 直久	(1) 空家・空地の有効活用による定住対策 (2) 生活に欠かせない小売業の存続対策 (3) 石見東小学校の環境整備 (4) 防犯灯・防犯カメラ設置の支援拡大	14

一般質問とは・・・議員が町の行財政全般について、執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるもの。通告制であり、本町では一問一答方式、制限時間60分としている。

## ガッテン!! 一般質問

毎回一般質問をして、今回は9回目となる。毎回慣れて、上手になっていく同志たちを横目に、私は逆を行っているのが、最近では、通告書になり事だと指摘されたり、不適切な表現をして、お騒がせをしている。議会というものはルールがあるので、そこに納まらないといけない。まだまだ私には難しい課題だ。

今回漆谷議員が、一般質問での質問や提案に答弁したことが、その後どう生かされたか報告をとの提案に、必ず報告するとの答弁だった。大いに期待し、今後も失敗を恐れずどんどん質問していきたい。

鍵本亜紀 記

奈須正宜 議員

邑南町の魅力は

町長 子ども条例の具現化で



奈須正宜議員

定住、移住、人口維持のための今年度の施策と、重点的に行う施策は何か。

田村地域みらい課長

産業振興、雇用創出に關しては、特定地域づくり事業協同組合制度を活用した事業、道の駅再整備事業など。

住まいに関する生活環境整備については、民間賃貸住宅整備事業や、空き家の利活用を推進する住宅相談センターでの事業、町営バスなどの生活交通がある。

人口維持については、地区別戦略発展事業や、地域コミュニティの再編に向けた取組みがあり、今年度は、地域コミュニ

ティの在り方について検討委員会から提言が出る予定だ。安心、安全に暮らせる地域コミュニティを維持するための仕組みづくりによって人口減少下で、地域の担い手が不足しても、地域が存続できるように再編したいと考える。

奈須議員

新たな子育て支援の拡充、高校生までの医療費の無償化について要望する意見がある。近年は子育てなどの支援率が高いところに移住した例が多いようだ。物価高騰により生活費は上がるが、給料は上がらず、経済的な支援率が高い近隣の市町を選んでいくという意見がある。

高校生の医療費が無償になるので、子どもの住民票を移そうか悩んでいると相談がある。本町でも、高校生までの医療費を無償化することで、町民と、町外から矢上高校に進学する方への支援にもつながると考える。町の考えは。

田村地域みらい課長

施策については、子ども条例の理念に照らし合わせて検討していきたい。要望がどのくらいの声として上がっているのか、議論のきっかけにしていきたい。

坂本保健課長

制定された子ども条例の中では、第15条に、町は、子どもの健やかな成長を支援するため、その健康の確保及び増進に關する施策等の充実を図ると謳われている。

県内の状況を考え他市町と、ひとしく安心して医療にかかり、疾病の早期発見や重症化を防ぐという観点から、本町においても、助成の必要性を認識している。今後は、子ども条例制定に伴う新たな子育て施策、子育て支援の拡充策の一つとして、関係課と検討していきたい。

奈須議員

邑南町の中心的施策であった、日本一の子育て村構想とA級グルメ構想を終了した。邑南町といえば、日本一の子育て村、



伝統をつなぐ子どもたち(矢上地域での田植え囃子)

A級グルメ構想と、全国的にも言われる構想だったと考える。終了した今、定住移住を推進していく中で、Uイターンを考えたおられる方への、今の邑南町の魅力は何か。

石橋町長

女性にとって、支持されるまち、女性にとって

優しいまちを一層進めていかなくはないかと思う。シェンダー平等、これは皆さん方のお力、あるいは住民の推進委員会の推進、あるいはさまざまな団体の力で少しずつ、ギャップが埋まってきている統計もあるが、まだまだ十分だと思っている。シェンダー平等ということは、ぜひこれからも力を入れていきたい。そういうことによって邑南町に住んでよかったというところにつながるんではないかと思う。

県内でも先駆けて子ども条例を策定した。策定して終わりではなく、今後具現化していく。そして邑南町は、あくまでも子どもを真ん中において、支援をしていくんだというのをしっかり訴えていくことが大事だと思っている。

野田佳文 議員

## 観光スポットの

# 持続可能な景観維持は

課長

## 関係者の皆さんと一緒に考える



**野田佳文議員**

地域資源の磨き上げも大切であるが、観光スポットの持続可能な景観維持について、確実に実現可能な最善策は何か。

**白須産業支援課長**

民間団体により、整備された観光スポットの景観維持を含む維持管理や修繕は、整備された団体などによって行われていると認識している。

管理者の方の高齢化や人手不足、人材不足などの課題に向き合うには、規模や状況に応じたさまざまな対応を考えていかなければならず、最善策として絞るといふことはなかなか難しいと考える。

その中で対処方法とし

ては、地域課題として維持管理に取り組みことや

地域での取組みの中で、地域が関係人口と協力して、観光スポットの景観を維持していくことも考えられる。

町としても、景観維持の方法について、関係者の皆さんと一緒に考えていきたい、積極的に現場にも出向きたいと思っている。その際は、御意見を聞かせていただきたい。また、お困りの際は、産業支援課に相談などをいただければと、考えている。

**野田議員**

以前に質問した時にも同じような答弁もあったが、今回は、本当に切実な御意見を聞いたので質問をした。

自然回帰高原の散策路の整備についての計画はあるのか。

**白須産業支援課長**

自然回帰高原の現在の管理については、年2回の草刈りを行っている。

範囲としては、駐車場から展望台へ向かう歩道を考えている。それ以外

の散策路をどこまでやるかについては現場を確認して、必要な範囲というのを再度精査したい。

**野田議員**

ガバメントクラウドファンディングの活用はできないか。

**白須産業支援課長**

ふるさと寄附を活用して行うクラウドファンディングは、自治体が抱える問題解決のために、ふ

るさと寄附金の使い道を

より具体的にプロジェクト化し、そのプロジェクトに共感した方から寄附を募る仕組みである。ガバメントクラウドファンディングは、寄附金の使い道が具体的な事業として、示されている点が通常のふるさと納税とは異なる。

邑南町ふるさと寄附条例施行規則では、ガバメ

**野田議員**

観光スポットの今後の景観維持について、町長の考えは。

**石橋町長**

行政としての働きかけをもう少し強めることが景観維持につながっていくと思う。

**その他の質問**

その他に、野田議員は、森と暮らしの未来創造プロジェクトにある山遊びインスタラクター育成と、食育と郷土料理について質問しました。



美しい景観を未来へ（花桃が満開の川角集落）

日本共産党 日高八重美 議員

# 広島ビジョンに対する考えは

## 町長 核廃絶に向け一歩でも前へ



**日高八重美議員**

5月に広島で行われた主要7か国の首脳会議で発表された、「核軍縮に関するG7首脳広島ビジョン」に対し、町長の見解を問う。

**石橋町長**

各国首脳が被爆者との対面や、原爆資料館を訪問し、被爆の実相に触れ核兵器のない世界の実現を訴えたことの意義は大きい。しかし、広島ビジョンでは、核抑止力を認めており、さまざまな評価がある。核兵器廃絶への取組みが着実に進むよう、小さな一歩でも活動をしたい。

**日高議員**

「広島ビジョン」では、核兵器そのものが非人道

的な武器であるという批判や告発に一言も触れていない。岸田首相は、核兵器廃絶を究極の目標とし「核抑止論」を公言した。「地球上から早く核兵器をなくして!」という高齢の被爆者や市民の強い思いが踏みにじられている。「非核平和宣言」している町として、核兵器禁止条約に参加することを国に求めていただきたい。

**石橋町長**

「宣言」の条文は議会と共に作成した経緯があるので、議論を深める必要がある。

### 問 訪問介護の人材育成は

**日高議員**

訪問介護に従事されている職員の高齢化と人材不足が深刻である。

地域医療構想での在宅医療・介護の方向性として、「高齢者等が生涯を通じて住み慣れた地域で安心して暮らせる邑南町をつくる」とある。人材不足のままでは、在宅



での介護が支えられなくなるのではないかと危惧する。町内の事業所の現状と課題について問う。

**答 県と共に**

### 処遇改善を求める

**小笠原医療福祉政策課長**

町内には、4箇所の事業所があり、非常勤も合わせて約30人のヘルパーが従事している。常勤職員の確保が困難で、大半が60代以上の非常勤職員

で対応している。

どの事業所も、人材不足から新規利用の受け入れが困難であることや、サービス開始までに調整を要する事例がある。人材確保や育成は大きな課題である。

**日高議員**

全国的にも、従事者の平均年齢は高く、若い世代の後継者がいない。介護の仕事にやりがいを持つように、待遇改善も必要ではないか。

邑南町内には介護初任

者研修を受講できる場がない。人材確保を事業者任せにするのではなく、町内で人材養成はできないのか。

**小笠原医療福祉政策課長**

町内の小中学校では、ふるさとの将来に果たすべき役割を考え、地域医療の現状や課題について学ぶカリキュラムもある。

初任者研修は、指定された研修箇所で行われている。今後、県に要件等を確認し、模索していきたい。

**石橋町長**

地域包括ケアを進めていくには人材確保は必要。そのためには処遇改善は重要で、国への働きかけもなければならぬ。県や町村でうねりを起こしていけるよう頑張りたい。

### その他の質問

その他に日高議員は、带状疱疹ワクチン接種への助成について、近隣自治体の助成状況を問い、町の対応を求めました。

# 大屋光宏 議員

## 情報公開の姿勢は

### 町長 不十分と反省している



**大屋光宏議員**

邑南町は他の自治体に比べ提供されている行政情報が少ない。特にホームページに公開されている情報は少ないと感じるがなぜか。

**柳川情報みらい創造課長**

公開可能な町の情報をホームページ上ですべて公開することはサーバー容量等物理的に限度がある。一般的に住民が求める情報はごみの出し方などの生活に密着した情報であるが、要望の多い情報については公式アプリ等も含め情報伝達に努める。

**大屋議員**

具体的に、選挙運動収支報告書など条例等で「閲覧」とされているものはホームページで公開

できるか。

**秋田町民課長**

選挙運動収支報告書の要旨は、公職選挙法にて公表することが規定されている。本町では、告示によって公表としている。ホームページ上での公開は可能であるが選挙管理委員会での協議が必要である。

**大屋議員**

情報公開において個人情報情報は守らなければならぬのは理解しているが、何が個人情報に該当するかわからない場合も多い。例えば、農業振興において認定農業者は育成すべき農業者として重要であるが、認定農業者名は個人情報か。

**白須産業支援課長**

**大屋議員**

産業振興について議論を深めるためには、町の実態を正しく知る必要があるが、邑南町は商工業や農林漁業の統計を取りまとめて公表していない。用語の定義付けと独自調査なども行い商工業

と農林漁業の統計数字を毎年取りまとめるべきではないか。

**白須産業支援課長**

議論を深めるためには、施策の根拠となる統計数値等を共有することは大事である。現在は、農林業センサスなどの国や県の統計資料または、商工会やJA等の関係機関の資料等から必要な数値を整理し利用している。

今後も、議論の内容において必要な数値を都度提示していきたい。

**大屋議員**

新たな情報をホームページ上で公開するかどうが決めるのはだれか。

**大賀総務課長**

町長の指示や住民からの要望に応じて、町長の決裁を受け公開する。

**大屋議員**

邑南町の情報公開は消極的ではないか。

**石橋町長**

選挙公約として、徹底した情報公開を掲げたが、現状は不十分であると反省している。

**大屋議員**

情報公開を進めるためには一時的なコストと職員負担が生じる。

**日高副町長**

公開する情報の優先順位と費用対効果の検討も必要であるが、法令等の制限のない情報については、しっかり公開していきたい。

きたい。

**問** 非核平和の町宣言の思いは

**大屋議員**

邑南町「非核平和の町宣言」には、「全世界からの核兵器の廃絶」という趣旨の文言がない。本町の宣言は「核の抑止力」を認めているのか。

**答**

**核廃絶が前提**

**石橋町長**

核兵器の廃絶が絶対であり、核抑止力を容認することはあり得ないことが前提で、文案ができた経緯がある。



広島県境、三坂口の宣言看板

# 未来志向で公共施設等の管理を

漆谷光夫 議員

## 町長 住民検討委員会を立ち上げる



漆谷光夫議員

人口減少や財政が厳しい中、邑南町公共施設等総合管理計画を未来志向で着実に進めることが重要である。

長期的な視点で更新・統廃合・長寿命化を計画的に行ない、財政負担の軽減・平準化と公共施設等の最適な配置を実現することが持続可能な町に必要と考える。

老朽化した公共施設とインフラの更新費用に「今後40年間に渡って毎年30億円必要」と管理計画にあるがこのことについて問う。

上田建設課長

今後40年間、毎年30億円必要の更新費用についてはあくまで修繕等の長

寿命化を図らず、単純に更新することを前提の費用として表記している。現在のところ、施設の総量の縮減があまりできていないので、今回の管理計画改定版で見直し方針を策定して、施設の長寿命化や再編等について本格的に取り組んでいきたいと考えている。

三上財務課長

年間30億円の更新費用は令和3年度決算の普通会計における普通建設事業費の2.42倍にあたる数字である。今後の人口減少による税収の減少や地方交付税の減少が進む中、この状況を直視し、施設の統廃合を進めていく必要があると考えている。

漆谷議員

人口減少など利用需要の変化に基づく施設の最適な総量が、重要となるが、計画にある今後30年で延床面積ベースで約10%の縮減は適正か。

上田建設課長

縮減目標については町民の皆さまの暮らしや地域のことを考えて、柔軟



改築工事が進む石見中学校

に対応していくことが必要と考えている。

漆谷議員

公共施設等管理計画を進める上で、重要なことは住民の理解と協力が不可欠であり、特に住民検討委員会には未来を担う世代に多く参加いただく必要がある。また、町民生活に影響するインフラ施設の管理計画については配慮が大切である。

未来を見据え、管理計画にどのように向き合っていくか。令和5年度中に公共施設

石橋町長

令和5年度中に公共施設

問 一般質問  
検討の状況は

漆谷議員

一般質問に対し「検討する」などと答弁されることがあるが一般質問は、その後どのように検討されているのか。

一般質問は重いものがあり、質問事項に対する検討状況を定期的に回答すべきではないか。

答 状況を  
回答する

大賀総務課長

検討事項について所管課任せのところがあり反省している。

検討すると答弁した事項は責任をもって対応していきたい。

石橋町長

一般質問の内容は大変重いものである。

場合によっては検討すると答えているが検討事項の回答を怠っているとするは大変遺憾なことである。必ず、答えていくことを約束したい。

鍵本亜紀 議員

「誰ひとり取り残さない」に  
込められた想いは

町長 町民の幸せに少しでも寄与したい



鍵本亜紀議員

誰ひとり取り残さないに込められた想いは。

石橋町長

町民の幸せに少しでも寄与したい。

信頼関係を築くために、情報公開を積極的に行い、行政側から現場へ出向き、少数意見も聞く。

引きこもりや不登校等、孤立した方たちの居場所づくりや相談体制も整え、町長部局と教育委員会が一層連携し、誰ひとり取り残さないという意味や子ども条例についても一緒に学んでいく。

スマホなどITがわからない方へも、公民館などで講習をするなど情報格差の無いように努め、役場窓口での手続きなど

を、簡単なワンストップにしていくことなどを考えている。

鍵本議員

神紅の産地化へ向けて募集しているアグサポ隊へ、適切な対応がされていない。執行部が窓口となってリースハウスのことや周辺の整備など進めるべきだが、責任体制がはつきりしていなくて混乱をきたしている。

女性の働きやすい農地と言っている中で、女性も自ら排水溝を掘らねばならないことについてはどう思うか。

白須産業支援課長

関係機関それぞれコミユニケーションが取れていないと感じている。現場へ行き、話を聞き、早急に対応していく。

排水溝については、解決の方向に向かっている。女性の働きやすい農地作りの予算は今後も活用し、女性に配慮した農場となるよう努める。

鍵本議員

子ども条例の町民への周知はされているのか。

田村地域みらい課長

広報誌やホームページで公表している。町民に広く理解してもらうための逐条解説も作成した。今後は出前講座などで普及に努めていく。

鍵本議員

奈須議員の一般質問で、職員のフレックスタイム制度の活用について、子どもの習い事の送迎では、職員や町民の理解が得られないという理由で認めていないということだが、子ども条例では、子どもの居場所の大切さなど謳われている。町民の理解の前に、まず周知されていない。せっかく作った子ども条例なのだから、まずは役場から、子どもの習い事の送迎も認めてはどうか。町内事業者への波及効果もあるのでは。

田村地域みらい課長

声が上がること議論になり、今後の参考になる。

鍵本議員

無作為抽出の住民会議は、案内があった中でも有志の方が、町のために

と参加している。職員は業務だが、ボランティアで参加した町民に報告はしたのか。

田村地域みらい課長

住民会議の参加者は策定委員ではないので、全町民に伝える広報誌やホームページなどで伝え

た。

鍵本議員

一言報告がないと失礼ではないか。参加した人達を取り残している。邑南町民憲章にある「人を尊び心のかよう、和やかな町」を、町政が

率先してやっていくべきだ。

石橋町長

子ども条例は、子どもの成長を地域ぐるみで応援するという趣旨だ。双方向で学びあい、あらゆる階層の人と議論を重ねることが、次の予算化にも繋がり信頼関係もできていく。

鍵本議員

町民に気持ちを向けることに予算はいらない。小さな気遣いを大切にしたい。町民と信頼関係を築いてもらいたい。



「神紅」リースハウスの排水溝

# 定住対策に遊休不動産の活用を

辰田直久 議員

課長

## 定住を促す新たな住宅施策を



辰田直久議員

空家、空地の有効活用による人口定住対策が急務と思われるが、取組み状況と最近の傾向について問う。

田村地域みらい課長

令和4年度に調査を行ない、数多くの空家の存在が判明した。そのうち約500件が活用可能な物件であり、町の住宅相談センターが宅地建物取引業者等と連携して取組みを進めている。

空家相談会へは80件を超える申し込みがあった。空家バンクは今年で34件の登録があり15件が成約に至り、関心は高まっている。令和6年に相続登記義務化をはじめ遊休資産が定住の受

皿として活用できるように取組みたい。

辰田議員

空家を壊すにも改装するにも多額の出費が必要となる。不動産を所有して新たな定住に繋げるためには、売手と買手の利害が一致して有効活用されるために、町が支援を行なう基金創設等の考えはないか。

田村地域みらい課長

町の所有でない物件に町が投資することは難しい面もあるが、定住を確実にするために自分所有にすることが必要であるという貴重な提言は今後の参考にさせていただきます。

問

生活に必要な小売業の存続を

辰田議員

少子高齢化が進む中では、町内消費を促し将来の生活基盤の確保や町の存続にも繋げるために小売業等への対策を講じる必要性はないのか。

答 状況に応じた支援を講じる

白須産業支援課長

令和3年の経済センサスによると事業所数、従業員数は減少傾向であるとともに消費量、商品販売額は大きく減少している。本町の対策としては、コロナ関連や物価高騰に対する支援策を行ない存続対策を講じている。このほか仕事づくりセンターや商工会と連携し売り上げ拡大や事業継承に努力する。

辰田議員

町外からさまざまな商品を販売する大手のドラッグストア等が進出すれば、既存の小売業は大打撃を受けるが、それを止めるために行政としての対策を講じられないか。

白須産業支援課長

本町では、一定規模以上の開発には開発協議と関係住民の同意書提出を義務づけている。これは、町外に本社を持つ、小売業に限るものではないが、一定の条件になるも

のと認識している。

町内事業所の存続は重要事項と考えるが、生活環境や買い物環境の維持から見ると、町外からの進出に対する特定の条件設定は、慎重に考えなければならぬ。

辰田議員

地元の小売業もカード対応やポイント付与の機器の導入を行ない生き残りに努力している。大手の進出を阻止するためにも、町民や職員が地元消費を心がけて、高齢化が進む中でも将来に不安の少ない町となるよう守っていかねばならぬと答えました。

その他の質問

い。

辰田議員は、放課後児童クラブの施設改修や支援員の処遇改善、石見東小学校の安心安全を重視した周辺の環境整備の必要性とともに、町内の防犯灯や防犯カメラの設置に対する助成制度を拡充して、事故や犯罪抑止に繋げ、居住環境の向上を図るべきではないかと質問し、執行部はそれぞれに速やかな改善と予算確保に努めるべく検討すると答えました。



新たな住み手待つ空家

# 今年度も開催します 町民議会



多くの傍聴者も来られた昨年の町民議会

昨年度は12名の参加があり、さまざまな分野にご意見・質問をいただき、我々議員にとっても有意義な会でした。

今年度も町民議会の開催を予定しています。開催にあたり、募集の方法や開催する曜日の検討、質問時間や質問数などを協議しています。

今後開催日程や要綱などが決まりましたら周知していきますので、たくさんのご参加をお待ちしています。

また、前回の町民議会でご提案いただいた事についても調査報告していく予定です。

## 第16回 意見交換会を開催します

日時		会場		参加議員		
8月2日(水)	午後7時～ 8時30分	日貴公民館	研修室	奈須 正宜	瀧田 均	中村 昌史
		田所公民館	農林研修室	日高八重美	和田 文雄	平野 一成
		中野公民館	研修室	野田 佳文	辰田 直久	漆谷 光夫
		高原公民館	ホール	鍵本 亜紀	大屋 光宏	宮田 博
8月7日(月)	午後7時～ 8時30分	井原公民館	研修室	鍵本 亜紀	大屋 光宏	宮田 博
		矢上公民館	研修室1. 2	野田 佳文	辰田 直久	漆谷 光夫
		市木公民館	和室	奈須 正宜	瀧田 均	中村 昌史
		布施公民館	和室	日高八重美	和田 文雄	平野 一成
8月8日(火)	午後7時～ 8時30分	日和公民館	研修室	鍵本 亜紀	大屋 光宏	宮田 博
		出羽公民館	ホール	野田 佳文	辰田 直久	漆谷 光夫
		阿須那公民館	大会議室	日高八重美	和田 文雄	平野 一成
		口羽公民館	会議室大	奈須 正宜	瀧田 均	中村 昌史

### ご意見をお寄せください

この広報に限らず、議会のことについてご意見、ご質問などがございましたら、気軽にご連絡ください。

### 議会の傍聴にお越しく下さい

9月定例会は、9月4日からの開催を予定しています。一般質問だけでなく、全員協議会などすべての議事が傍聴できます。お気軽にお越しく下さい。

お問い合わせ先：議会事務局  
TEL：0855-95-1113  
I P：050-5207-3021

今年も議会意見交換会を8月2日、7日、8日に開催します。

日頃不便に感じていること、わからないこと、今の生活で感じていることなど、気軽に話に来ていただく感覚で、ご参加いただけたらと考えています。いただいたご意見を町政に反映したり、前回の意見交換会において出たご意見で一般質問した議員もいました。

皆さんの声をお聞かせ

下さい。これからの邑南町を一緒に住みやすい町にしていきましょう。

なかなか意見が言いづらい方も、どんな話をしているのかなど、話を聞きに来られるだけでも大丈夫です。幅広い年齢層の、たくさんの方のご参加をお待ちしております。

議長は、会場を定めず参加します。

# 夏は“もろきゅう”が最高

## Uターンで家業の味噌づくりを継承

### 寿老みそ 加藤 節也 さん



小雨の降る早朝、口羽の町なかにある、寿老みそさんを訪ね、お話を伺いました。

生まれ育った家の家業を継ぎ、味噌づくりを始めたのは3年前。地元のホームドクターに、ご両親ももう歳だから帰って来いと言われたのがきっかけ。

私が帰り、まもなく両親もなくなり、味噌づくりに一層熱が入った。

幼い頃から慣れ親しんだ家で、体で覚えた味噌づくり。仕込んでから毎



笑顔で迎えて下さった加藤節也さん

日、混ぜてご機嫌を伺う。ふくふくと生きている味噌は、決して密封できるものではなく、ちゃんと息ができるようにしたい。生きている味噌、味噌汁ではなくそのまま加熱せずにいただく。

お店だけでなく、江の川鉄道のトロッコイバントや、あすな市、道の駅瑞穂でも販売している。

遠方のお客様から、美味しかったからまた送ってと手紙が来るのが嬉しい。



羽須美名産、おいしい「寿老みそ」

話ながら優しい目元が更に緩む。地域の方やUターン者と一緒に、地域のためにできる事をしたい、みんなで楽しみたいと語る加藤さんは、中村議員と幼馴染だそうです。

美味しい生味噌、夏はもろきゅうにピッタリですよ。ぜひとも、ご賞味ください。

連絡先

☎ 87-00026

取材 鍵本亜紀

## 編集室の窓



3年続いたコロナ対策も緩和され、町内でも運動会や球技大会など各種イベントも開催され、やっと日常が取り戻されてきました。何よりうれしいのは、子ども達がマスクをせず、のびのびと、いろいろな活動に笑顔で取り組んでいる姿です▼私も議会広報に携わり、早いもので3年目となりました。3年目になって、行政用語は難しく、記事にするのも自分が理解していなければできないので、勉強の毎日です▼委員長もよく言われていますが、難しい言葉をずらずら並べるだけではなく、「読む広報」から「見る広報」へと変えていき、少しでも多くの方に読んでいただき、町政に興味を持っていただけるような議会広報が作成できたらいいなと思って、今も苦手なパソコンをパチパチしています。

奈須 記